

様式第2号の1-②【(1)実務経験のある教員等による授業科目の配置】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の1-①を用いること。

学校名	日本 IT ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人せとうち

1. 「実務経験のある教員等による授業科目」の数

課程名	学科名	夜間・通信制の場合	実務経験のある教員等による授業科目の単位数又は授業時数	省令で定める基準単位数又は授業時数	配置困難
商業実務専門課程	国際ビジネス学科	夜・通信	216 授業時数	160 授業時数	
		夜・通信			
文化・教養専門課程	外国語学科	夜・通信	180 授業時数	160 授業時数	
		夜・通信			
(備考)					

2. 「実務経験のある教員等による授業科目」の一覧表の公表方法

授業並びにオープンキャンパスでの教員紹介、及びその模様を本校ホームページと連動しているフェイスブックにて、テキスト及び動画で公開している。今年8月を目途にホームページにおいても公開する予定である。現在は当校にて閲覧可能である。

3. 要件を満たすことが困難である学科

学科名
(困難である理由)

様式第2号の2-①【(2)-①学外者である理事の複数配置】

※ 国立大学法人・独立行政法人国立高等専門学校機構・公立大学法人・学校法人・準学校法人は、この様式を用いること。これら以外の設置者は、様式第2号の2-②を用いること。

学校名	日本 IT ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人せとうち

1. 理事（役員）名簿の公表方法

今年度8月を目途にホームページにて公開する予定である。現在は当校にて閲覧可能である。

2. 学外者である理事の一覧表

常勤・非常勤の別	前職又は現職	任期	担当する職務内容や期待する役割
非常勤	会社経営者	2018.6.15 ～ 2021.6.14	民間企業と連携。経営者としての、経営感覚を学校経営に反映させる。
非常勤	大学名誉教授（他法人）	2018.6.15 ～ 2021.6.14	学校運営を通じて改善可能な瀬策運営に関する全体的なアドバイスをいただく。
非常勤	大学教授（他法人）	2018.6.15 ～ 2021.6.14	大学での高度な教育に関する専門的な分野でのアドバイスをいただく。
(備考)			

様式第 2 号の 3 【(3)厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表】

学校名	日本 IT ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人せとうち

○厳格かつ適正な成績管理の実施及び公表の概要

<p>1. 授業科目について、授業の方法及び内容、到達目標、成績評価の方法や基準その他の事項を記載した授業計画(シラバス)を作成し、公表していること。</p>	
<p>(授業計画書の作成・公表に係る取組の概要)</p> <p>12 月末までに企業の動向、求人ニーズなどを聞き取り、それに対応する形で翌年度の授業科目を策定する。(基本的には 1 年間分) 2 月に教務会議を開催し、教員と情報共有し、教員はそれに基づき年度開始前までにシラバスする。</p>	
<p>授業計画書の公表方法</p>	<p>入学式後のオリエンテーションで学生には説明しているが、ホームページにて公表は本年度中に行う予定である。現在は当校にて閲覧可能である。</p>
<p>2. 学修意欲の把握、試験やレポート、卒業論文などの適切な方法により、学修成果を厳格かつ適正に評価して単位を与え、又は、履修を認定していること。</p>	
<p>(授業科目の学修成果の評価に係る取組の概要)</p> <p>1. 出席率が 3 分の 2 未満の者については、履修認定外としている。</p> <p>2. 3 分の 2 以上の出席者のうち、授業態度や成果物の提出、テストの成績などを総合的に勘案し、各先生方に絶対評価で採点していただき、それらをまとめて進級、卒業の可否を決定している。</p>	

<p>3. 成績評価において、G P A等の客観的な指標を設定し、公表するとともに、成績の分布状況の把握をはじめ、適切に実施していること。</p> <p>(客観的な指標の設定・公表及び成績評価の適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>1. 出席率3分の2未満の者については、履修認定外としている。</p> <p>2. 出席率3分の2以上の者を対象に、出席率、授業態度、成果物の提出、テストの成績などを総合的に勘案し、100点満点での絶対評価をしている。</p> <p>S 90点以上の者</p> <p>A 80～89点の者</p> <p>B 70～79点の者</p> <p>C 60～69点の者</p> <p>D 59点未満のもの 不認定</p>	
<p>客観的な指標の 算出方法の公表方法</p>	<p>入学式直後のオリエンテーションで学生には説明しているが、ホームページでの公表は今年度中に行う予定である。現在は当校にて閲覧可能である。</p>
<p>4. 卒業の認定に関する方針を定め、公表するとともに、適切に実施していること。</p> <p>(卒業の認定方針の策定・公表・適切な実施に係る取組の概要)</p> <p>第1学年で履修すべき課程を修了し、かつ第2学年において履修すべき課程を修了したもののみを、卒業認定会議にて審議し、その結果に基づいて校長がこれを認定する。</p>	
<p>卒業の認定に関する 方針の公表方法</p>	<p>入学式直後のオリエンテーションで学生には説明しているが、ホームページでの公表は今年度中に行う予定である。現在は当校にて閲覧可能である。</p>

様式第2号の4-②【(4)財務・経営情報の公表（専門学校）】

※専門学校は、この様式を用いること。大学・短期大学・高等専門学校は、様式第2号の4-①を用いること。

学校名	日本 IT ビジネスカレッジ
設置者名	学校法人せとうち

1. 財務諸表等

財務諸表等	公表方法
貸借対照表	本年8月を目途にホームページにて公表予定であるが、現在は本校にて閲覧可能である。
収支計算書又は損益計算書	同 上
財産目録	同 上
事業報告書	同 上
監事による監査報告（書）	同 上

2. 教育活動に係る情報

①学科等の情報

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
商業実務		商業実務	国際ビジネス学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間/単位	1836 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	1,836 単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		98人	97人	5人	6人	11人	

分野		課程名	学科名		専門士	高度専門士	
文化・教養		文化・教養	外国語学科				
修業 年限	昼夜	全課程の修了に必要な総 授業時数又は総単位数	開設している授業の種類				
			講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼	1,728 単位時間/単位	1,836 単位時間	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位	単位時間 /単位
	1,836 単位時間						
生徒総定員数		生徒実員	うち留学生数	専任教員数	兼任教員数	総教員数	
80人		9人	9人	5人	6人	11人	

カリキュラム（授業方法及び内容、年間の授業計画）

<p>(概要) 12月末までに企業動向、求人ニーズをヒアリングし、それに対応する形で翌年度授業内容を策定し、2月の教務会議にて各教員と情報共有をする。各教員は、年度開始までにシラバスを提出する。</p>
<p>成績評価の基準・方法</p> <p>(概要) 出席率、授業態度、成果物の提出、テストの成績などを総合的に勘案し、100点を満点とした絶対評価をし、その点数に応じてS,A,B,C,Dの標語で表す。</p>
<p>卒業・進級の認定基準</p> <p>(概要) 第1学年で履修すべき課程を修了し、かつ第2学年において履修すべき課程を修了したもののみを、卒業認定会議にて審議し、その結果に基づいて校長がこれを認定する。</p>
<p>学修支援等</p> <p>(概要) 学費等納付金分納制度、学校独自の奨学金(減免制度)を用意している。個別面談について年2回を目途に実施し、困りごと、悩みなどを把握するようにしている。</p>

卒業生数、進学者数、就職者数(直近の年度の状況を記載)			
卒業生数	進学者数	就職者数 (自営業を含む。)	その他
0人 (100%)	人 (%)	人 (%)	人 (%)
(主な就職、業界等)			
(就職指導内容)			
(主な学修成果(資格・検定等))			
(備考) (任意記載事項)			

中途退学の現状 国際ビジネス学科		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
24人	10人	41.7%
(中途退学の主な理由) 学費未納、あるいは出席率の低下など。		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費等納付金分納制度、学校独自の奨学金(減免制度)を用意している。個別面談について年2回を目途に実施し、困りごと、生活環境、悩みなどを把握する		

ようにしている。
又、生け花教室、折り紙教室、地元高校生との交流を定期的に行い、コミュニケーションを深めている。

中途退学の現状 外国語学科		
年度当初在学者数	年度の途中における退学者の数	中退率
3 人	0 人	0%
(中途退学の主な理由)		
(中退防止・中退者支援のための取組) 学費等納付金分納制度、学校独自の奨学金（減免制度）を用意している。 個別面談について年2回を目途に実施し、困りごと、生活環境、悩みなどを把握するようになっている。 又、生け花教室、折り紙教室、地元高校生との交流を定期的に行い、コミュニケーションを深めている。		

②学校単位の情報

a) 「生徒納付金」等

学科名	入学金	授業料 (年間)	その他	備考 (任意記載事項)
国際ビジネス 学科	50,000 円	350,000 円	420,000 円	施設整備費 50,000、実験実習 費 150,000、MacBook Air、健 康診断、損害保険、教科書代と して 220,000
外国語学科	50,000 円	350,000 円	420,000 円	同上
	円	円	円	
	円	円	円	
修学支援 (任意記載事項)				
学費等納付金の分納制度、学校独自の奨学金 (減免) 制度を用意しています。				

b) 学校評価

自己評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://setouchicollege.com/ に掲載予定であるが、自己評価の冊子にて当校にて閲覧可能である。		
学校関係者評価の基本方針 (実施方法・体制) 学校関係者評価を行うに当たり、学校の教育目標等を実現するために、教職員会議を定期開催し、重点的に取り組むことが必要な目標や計画の取組状況等を共有する。その際、適切に評価できる項目等を設定し、授業で実践する。また、評価結果を公表することにより、学校運営の質に対する説明責任を果たし、保護者との連携協力を推進する。 具体的な実施方法としては、学生、教職員、理事、評議員、保護者、近隣住民など学校関係者に本校の目標や計画の取組状況等について、評価していただくための調査を実施する。その調査結果をもとに、教育課程編成会議を開催し、授業の改善に努める。		
学校関係者評価の委員		
所属	任期	種別
日本 IT ビジネスカレッジ	2 年	学生
瀬戸内市	3 年	市職員
学校法人せとうち	3 年	理事
玉津コミュニティー	3 年	近隣住民
学校関係者評価結果の公表方法 (ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法) http://setouchicollege.com/ に掲載予定であるが、学校評価の冊子にて当校にて閲覧可能である。		
第三者による学校評価 (任意記載事項)		



c) 当該学校に係る情報

(ホームページアドレス又は刊行物等の名称及び入手方法)

<http://setouchicollege.com/>